

公共料金の口座振替について

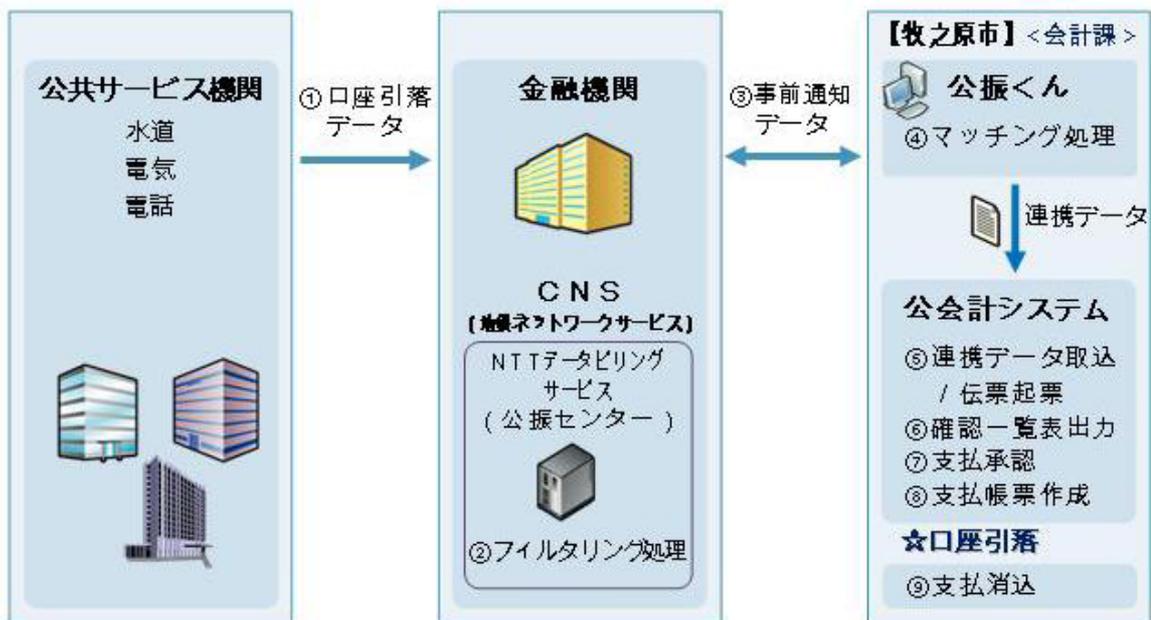
1 目的

水道料金や電気料金などの公共料金については、従来、各施設ごとの所管課に請求書と納付者が送付され、担当者が手作業で伝票作成した後、会計課がとりまとめて、金融機関に支払っていました。

しかし、請求書の到達が遅れたり、決裁途中で支払伝票や納付書の所在が一時不明となったりするなど、適切な支払い処理に支障を生じることがあったことから、口座振替を導入し、支払い事務の合理化を図りました。

2 口座振替の導入

(1) 公共料金支払いの流れ



(2) 導入費用

口座振替に必要なソフトは無料。口座引落手数料は1件31.5円(税込)。

(3) 導入効果

- ・公共料金の支払い漏れの解消、延滞金発生 of 未然防止。
- ・担当者の伝票作成及び納付書送達事務が不要となり、事務の効率化、公用車使用の削減などを実現。

3 導入の実績

支払い件数の少ない水道料金で、2月納付分から口座振替を導入。

平成25年2月28日振替分... 4, 218, 773円(56件)

4 今後の予定

水道料金の口座振替では、大きなトラブルはなく、期待した導入効果も確認されたことから、電気・電話料金などについても、順次口座振替を導入していきます。